

令和7年

労働災害発生状況 全産業編

令和7年に魚津労働基準監督署管内で発生した全産業における労働災害の発生状況は以下のとおりでした。

死傷者数

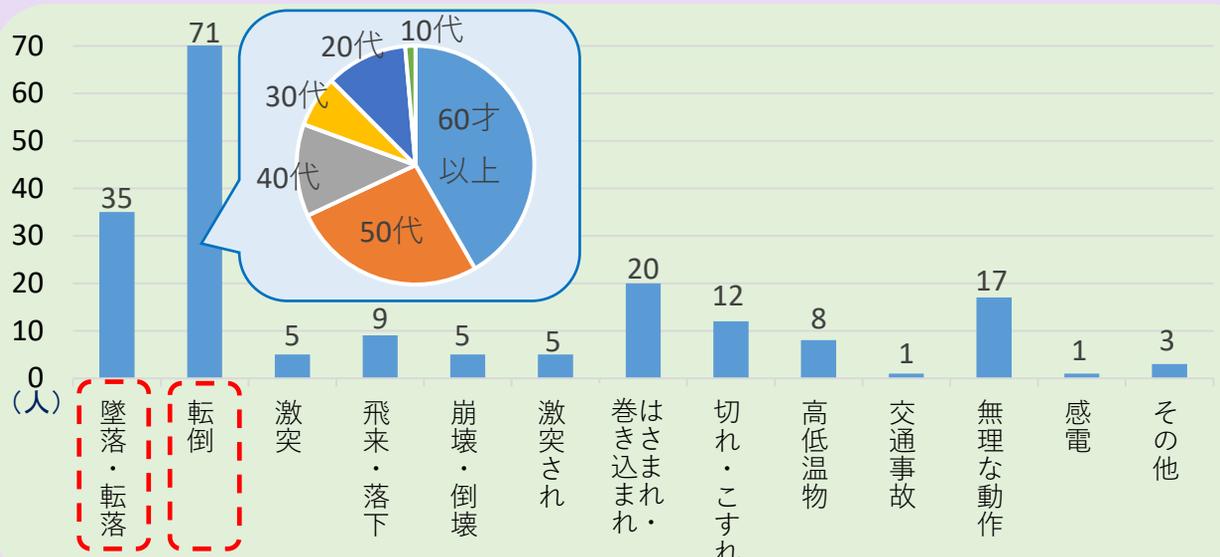
- ◎死亡者数 2人 (前年比+1)
- ◎死傷者数 ※休業4日以上 192人 (前年比+6)

- ✓ 令和7年2月及び同年7月に死亡災害が発生 (裏面参照)
- ✓ 令和4年から減少が続いていた死傷者数が増加に転じた



事故の型別

- ✓ 「転倒」による災害が最多 (前年比30%増)



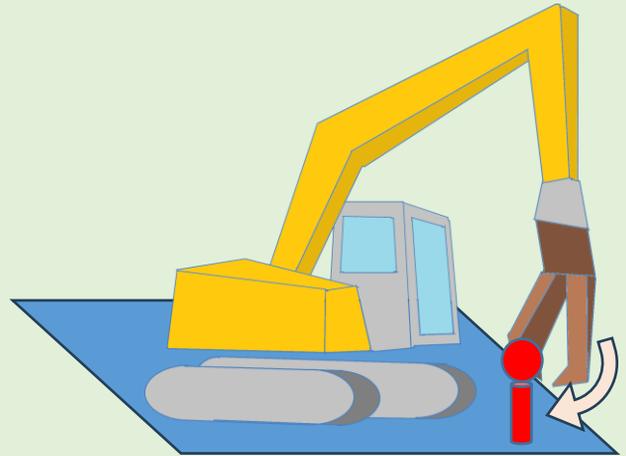
死亡災害事例

令和7年2月発生 建築工事業

- 起因物 解体用機械
- 事故の型 激突され
- 被災者 70歳代・経験年数19年

【災害の概要】

解体工事で発生した廃材をダンプトラックで処理場に搬入し、ダンプトラックから降車したところ、近くで作業を行っていた解体用機械と接触し死亡した。

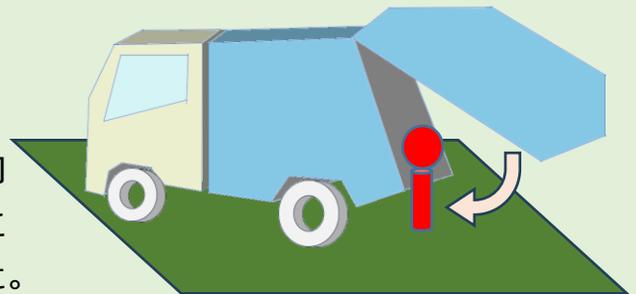


令和7年7月発生 道路貨物運送業

- 起因物 トラック
- 事故の型 はさまれ、巻き込まれ
- 被災者 60歳代・経験年数1月

【災害の概要】

パッカー車から資源物をおろし、車両内部の清掃を終えてテールゲートを閉めたところ、テールゲートに上半身がはさまれた。



転倒災害防止対策

- 作業場所、通路、階段、出口に物・水たまり等を放置しないこと。
- 段差のある箇所や滑りやすい場所などを改善すること。
- ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知すること。
- 作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選定すること。

転倒による被災者の約4割は60歳以上の高齢者です。

エイジフレンドリー指針 (R8.2.10公示) に基づき、働く高齢者の特性に配慮した安全な職場を目指しましょう。

[厚生労働省 HP](#) →



お役立ちコンテンツ

SAFEコンソーシアム

厚生労働省
HP



災害事例など

職場の
あんぜん
サイト



当署からのお知らせ

富山労働局
HP



【問合せ先】 魚津労働基準監督署 安全衛生課
〒937-0801 富山県魚津市新金屋1-12-31
☎0765-22-0579

